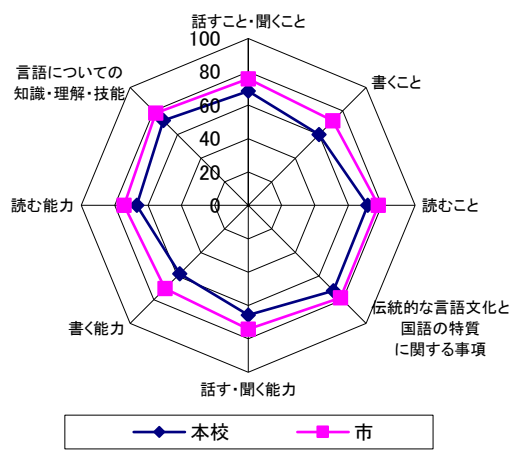


宇都宮市立清原東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	68.5	75.9	71.7
	書くこと	60.0	71.8	73.2
	読むこと	71.6	78.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.2	78.2	79.4
観点別	話す・聞く能力	65.7	74.2	70.8
	書く能力	57.9	70.4	71.0
	読む能力	66.8	74.3	75.0
	言語についての知識・理解・技能	71.9	78.2	79.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

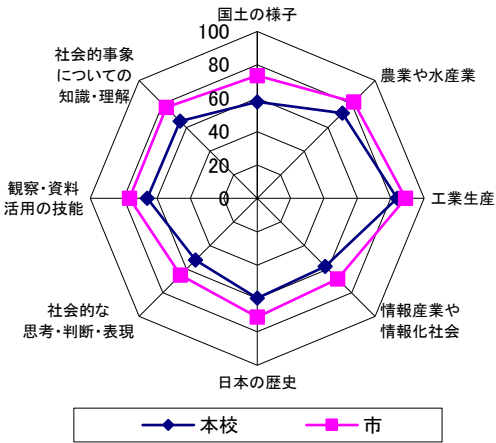
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し方の工夫を考えながら、話し合いの内容を聞く問題では、市の正答率を4.2%上回っている。 ●司会者の役割を理解して、計画的に話し合う記述の問題では、市の正答率を大きく下回っている。	・話し合い活動において、司会者の役割を確認したり、司会の役割を全員が取り組めるような機会を設け、具体的な言葉を指導して実践を通して理解できるようにする。
書くこと	●指定された長さで文章を書く問題では、グラフから読み取った事実を書くことや、グラフから読み取った事実をもとに、自分の意見を書くことに課題が見られる。	・行事等の感想文やお礼の手紙文などで、制限された文字数で文章を書くことについては慣れているが内容についての指定を意識して書くことについては苦手な児童が多いため、書く機会を積極的に設け、指導していく。
読むこと	○物語文の登場人物の心情を読み取る問題では、市の正答率を10%上回っている。 ●説明文では、段落相互の関係を読み取ったり、目的や必要に応じて文章の内容を的確に読み取ったりすることに課題が見られる。	・説明文では、文章の構成や段落ごとのつながりを意識して読ませることを通して、筆者の考えを読み取っていきけるよう指導していく。 ・図書館を利用して読書指導に力を入れて指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の読み書きについては、市の正答率を上回るものがある。 ●三字の熟語の構成や、文中の主語を問う問題、敬語について課題が見られる。	・漢字の学習は、今後も継続して進めていくとともに、復習にも力を入れて定着を図っていく。 ・日常の会話の中でも、敬語を意識させ、誤りがある時には、その場で指導し、定着を図っていく。 ・熟語や文法に関する学習プリントを用意し、朝の学習や家庭学習で取り組む。

宇都宮市立清原東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	57.8	73.6	76.2
	農業や水産業	72.3	81.9	77.5
	工業生産	83.8	88.9	83.4
	情報産業や情報化社会	57.7	68.2	61.0
	日本の歴史	59.8	71.1	70.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	52.4	65.1	62.1
	観察・資料活用技能	65.8	76.5	75.2
	社会的事象についての知識・理解	65.4	77.1	76.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

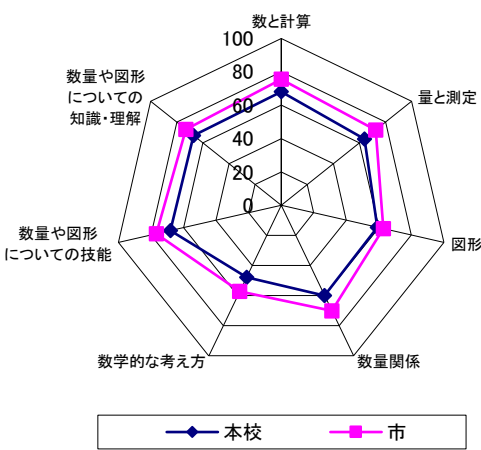
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	●日本の周辺の海洋名、主な国の名称と位置、日本の地形の概要についての理解をもとに資料を読み取ることに課題が見られる。	・国土の地形や気候、近隣諸国などについては、教科をはじめ、教科外でも関連のある時に取り上げ、日常生活の中でも継続して指導する。
農業や水産業	●稲作に従事している人々による品種改良の目的や、日本の主な食糧生産物の分布に関する資料を読み取ることに課題が見られる。	・5年生の学習内容について復習する時間を設け、定着を図る。 ・資料を活用して考察する問題で課題が見られるので、地図帳や資料集を活用し、複数の資料を比較したり、関連付けたりしながら考えるよう学習活動を多く取り入れる。
工業生産	○平均正答率は他領域と比べて高い。 ●様々な工業製品が国民生活を支えていることや、環境保全への取り組みについて、資料を読み取って考えることに課題がみられる。	・日本の食糧生産や工業生産について、資料の見方を指導していく。児童が課題を設定し、自ら課題解決学習を取り入れていく。
情報産業や情報化社会	●放送、新聞などの産業の役割や責任の大きさについて考えることに課題が見られる。	・情報を利用する際のメリットを、様々な職種で生かしている事例をあげて指導していく。
日本の歴史	○農耕が始まったころの様子については、正答率が95.4%とよくできており、市の平均を上回っている。 ●「鎌倉時代、室町時代」「安土桃山時代、江戸時代」「明治時代、大正時代」の主だった出来事や人物を問う設問で課題が見られた。	・それぞれの時代の特徴や共通点などをまとめ整理する。 ・授業の始めや終わりに時間をとり、歴史上の人物や出来事の小テストを行い、復習していく。

宇都宮市立清原東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	68.1	75.6	75.8
	量と測定	63.8	72.5	71.2
	図形	59.1	62.8	71.0
	数量関係	60.0	70.1	66.0
観点別	数学的な考え方	47.8	57.2	52.7
	数量や図形□についての技能	68.1	76.7	74.1
	数量や図形□についての知識・理解	67.1	73.0	77.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

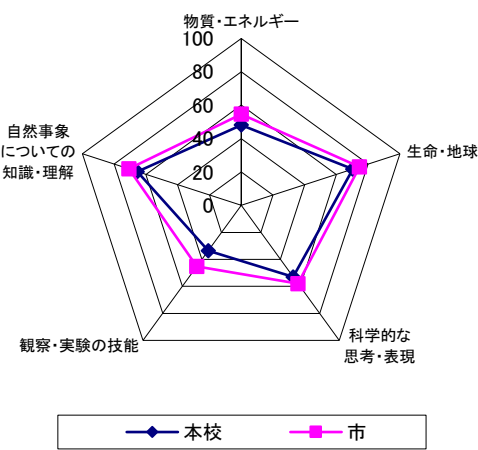
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●分数や小数のかけ算やわり算の計算の理解が十分でない。また、分数の除法の文章問題に合った式を選ぶことにも課題が見られる。	・朝の学習や授業において、ステップアップシートなどを活用し、復習する。また、約分に関しては、別のプリント等で定着を図る。 ・文章問題に関しては、線分図などを書いて、正しく立式できるように指導する。
量と測定	●速さと時間から道のりを求める(単位換算あり)ことや高さが図形の外にある三角形の面積を求める式を選ぶことにも課題が見られる。	・速さに関しては、「速さ×時間＝道のり」をただ覚えさせるのではなく、線分図などを書いて、正しく立式できるように指導する。また、単位換算に関しては、単位換算のみを取り上げて定着を図る。 ・面積の問題に関しては、公式を正しく覚えさせるだけでなく、様々な三角形の面積を求める問題を繰り返し取り組ませることにより、定着を図る。
図形	○図に示された七角形の内角の和を求める式を選ぶ問題では、市の平均を上回っている。 ●円の直径から円周を求めることにも課題が見られる。	・円の直径から円周を求める問題では、ステップアップシートなどを活用し、繰り返し問題に取り組ませることで定着を図る。また、小数のかけ算やわり算の定着が不十分なことも原因と思われるので合わせて復習する。
数量関係	●割合と比に関する理解が不十分である。割合を使って、基準値にあたる値引き前の値段を求める式を選ぶ問題や比の値を使って、必要な材料の量を求めることにも課題が見られる。	・割合と比に関しては、正答率も2割程度とかなり低いため、線分図などを書いて、正しく立式できるように指導する。また、割合に関しては、歩合から百分率の変換も苦手としているので、変換のみを取り上げて定着を図る。

宇都宮市立清原東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	48.1	54.6	57.5
	生命・地球	70.3	74.5	75.4
観点別	科学的な思考・表現	53.0	58.0	59.6
	観察・実験の技能	33.5	45.3	50.6
	自然事象についての知識・理解	65.4	70.7	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○おもちゃのふりこの1往復する時間を短くする方法や電磁石のはたらきを大きくする乾電池のつなぎ方についての問題などが市の平均を上回っている。 ●水溶液から水を蒸発させたときのようにすから、溶けていたものが固体か液体か判断することにも課題が見られる。	・実験ができるだけたくさん行えるように、時間と用具を確保して、一人一人の体験活動の機会を保証する。また、事前に十分に予想を立てる時間を設け、実験において試行錯誤を積み重ねることで、体験を通じた理解になるようにし、朝の学習などで、復習のミニテストを繰り返すことにより知識の定着を図る。
生命・地球	○生物の間の食べる・食べられるの関係や上弦の月が見られるときの太陽と月と地球の位置の関係についての問題が市の平均を上回っている。 ●心臓の位置に関することや日光に当てる前の葉には、でんぷんが少なくなることについての理解に課題が見られる。	・心臓の位置に関する問題では、呼吸や消化の時に心臓がどのような役割を果たしているかを説明させたり、模型や映像資料などを活用したりして知識の定着を図る。また、日光に当てる前の葉には、でんぷんが少なくなることについての問題も、一人一人が確かめられるように時間と用具を確保して、体験活動を保証することやミニテストを実施することにより、知識の定着を図る。